

1 学力向上にかかわる児童・生徒の実態と指導上の課題

実 態	課 題
<ul style="list-style-type: none"> ・文章を書くことに抵抗をもつ児童が多い。 ・話し手の言いたいことを考えて聞く意識が低い。 ・話の内容を踏まえた質問が十分にできない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・書きたいことを表現する力が身につけていないため、書く力を伸ばす指導が必要。 ・言語事項が身につけても使いこなす力が弱いため、実践を通して力を伸ばす必要がある。 ・しっかりと聞く習慣が身につけていないため、聞く・話す指導を工夫するとともに日々の指導の中でも意識させていく必要がある。

2 学力向上にかかわる教員の指導の実態と課題

実 態	課 題
<ul style="list-style-type: none"> ・文字の指導に追われ、文章の読み書きの指導が不足だった。 ・書く力、特に推敲する力を伸ばすことができなかった。 ・既習の漢字を日常活用していく意識付けが足りなかった。 ・互いに聞き、話し合う場の設定が十分とはいえなかった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・作文の指導計画の見直し、より効果的な作文指導の研究が必要。 ・日々の学習活動の中での実践を促す必要がある。 ・日々の指導の中での意識化に加え、場をしっかりと設定するなど、「聞く・話す」に関わる学習の指導計画を見直す必要がある。

3 学力向上を図るための具体的な内容

<p>○上記のことから、本校では「書く」「聞く」「話す」力に重点を置き、全校体制で系統的・継続的に取り組む指導を充実させる。</p> <p>〈書く力〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「書き方」の段階的な指導の実施。 ・視写等を通し、正確に文字表記ができる力を養う。 ・読み直したり推敲したりする時間の確保。 ・短作文作りや作文ノート・日記等の継続的な実施。 ・朝読書を継続し、語彙を増やすとともにいろいろな文章表現に多く触れさせる。 <p>〈聞く・話す力〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業中等における聞く・話すルールの確立。 ・話す・聞く機会を増やし、互いに学び合う場の設定。 ・朝の会や帰りの会でのテーマや量を意識させたスピーチの実施。 ・考えながら聞くことへの日々の指導の実施。 ・全校朝会等の活用。
--